

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270201587		
法人名	有限会社 ハートフル長崎		
事業所名	グループホーム 団欒		
所在地	佐世保市梅田町110-12		
自己評価作成日	令和5年6月12日	評価結果市町村受理日	令和5年10月31日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/42/index.php
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構		
所在地	長崎県島原市南柏野町3118-1		
訪問調査日	令和5年9月16日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様が入居前と変わらない暮らしが出来るよう、一人ひとりの思いやニーズに基づいた環境作りをお手伝いしている。コロナの影響で外出支援が難しいので月に1度、おやつ会を設け、職員が美味しいおやつを手作りをし大変楽しまれ、好評である。また、嚥下体操と手足の体操を毎食前に10分程度行い、入居者様の健康維持に努めている。入居者様に日々、楽しみや遣り甲斐をもって頂く為にも毎日、日替わりでリクリエーション(風船パレー、ボーリング、玉入れ、脳トレドリル、しりとり等)を行い、娯楽の時間を提供すると共に認知症の進行を抑えること支援を心掛けている。毎日の食事は栄養バランス、彩りを考慮し、職員が手作りで提供、残食も少なく美味しく食されている。職員は入居者様に安全・安心して暮らして貰えるよう、知識向上を目指し毎月の勉強会に参加しケアの質の向上を目指している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

佐世保市の中心部にも近く、緑豊かで長閑な場所に当ホームは存在する。入居者の高齢化もあるが介護度も軽度の入居者が多く、残存能力を活かせるような職員の介助を受けながら入居者が自ら生活に参加し、生活を営む姿が多い印象である。中でも入居者が職員と共に調理に参加し、器に盛り付ける手伝いを担い、また、自らの居室の手入れや衣類の管理を行う入居者もあり、入居者の今できる能力や意欲を大切にされた支援が行われている様子が確認できる。入居者が笑顔で会話を交わす様子からも自立支援や尊厳を保つ関わりを持たれ、入居者それぞれの個性や得意分を生活の中で活かされている。系列法人や内部研修で職員の人材育成への取り組みもあり、管理者のリーダーシップが活かされ、職員相互の風通しの良い職場環境と、安定した介護が提供されているホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 1階)	実践状況(ユニット名: 2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人の理念「もっと優しく、もっと温かく」当事業所の理念「優しく、思いやりのあるチームケア」に基づき、管理者と職員はあらゆる第三者に対し、優しく、温かく、思いやりのある対応を心掛けている。また、人事考課の際には理念を基にした個人目標を掲げ、介護の質の向上を目指している。	法人の理念「もっと優しく、もっと温かく」当事業所の理念「優しく、思いやりのあるチームケア」に基づき、管理者と職員はあらゆる第三者に対し、優しく、温かく、思いやりのある対応を心掛けている。また、人事考課の際には理念を基にした個人目標を掲げ、介護の質の向上を目指している。	ホームでは毎月時季に応じた具体的な行動目標を設定し、職員が自分で考え動くよう努めている。管理者が直接介助に関わることでホームの理念を姿勢で示し、理念の共有と実践に繋げている。年に2回行われる人事考課では自己評価及び管理者との面談が行われ、現状の把握や職員個々が目指す姿について話し合う機会を持たれている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年もコロナウイルス感染防止の為に地域行事は自粛している。しかし、町内館長、民生委員、中央保育園への年賀状、暑中見舞いでのやり取りは今年も行なった(入居者様)入居者様は達筆な文字でハガキ作りを楽しまれた。中でも、中央保育園の園児さんからのクリスマスカードは大変喜ばれ、涙を流される方もいた。	今年もコロナウイルス感染防止の為に地域行事は自粛している。しかし、町内館長、民生委員、中央保育園への年賀状、暑中見舞いでのやり取りは今年も行なった(入居者様)入居者様は達筆な文字でハガキ作りを楽しまれた。中でも、中央保育園の園児さんからのクリスマスカードは大変喜ばれ、涙を流される方もいた。	今年度はホームが地域の自治会班長を担い、地域の世話役として祭りの運営や環境整備等で地域住民との関りが多い年となっている。顔が見える関係によって介護相談を受けることも多く、地域に専門的な情報を提供しサービスの利用に繋がっている。ホームが関係機関への橋渡しを担い介護の拠点として活かされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今年町内の班長の年でしたので班長会議参加の際にグループホームや認知症に関するご質問を頂くことがあり、出来るだけ分かり易く説明を行った。また、介護認定や入居までの手続き等、知らない方が多いことに気付かされた。	今年町内の班長の年でしたので班長会議参加の際にグループホームや認知症に関するご質問を頂くことがあり、出来るだけ分かり易く説明を行った。また、介護認定や入居までの手続き等、知らない方が多いことに気付かされた。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年もコロナウイルス感染防止の為、2月までは書面での開催を継続した。運営推進会議では入居者状況、行事・研修・アクシデント報告等を行い、各推進委員の皆様から郵送で貴重な意見を頂きサービス向上に活かしている。また、約3年ぶりに4月に対面での開催を行った際には誤業のアクシデントに対する危機管理や対応マニュアルについての話し合いの場を設け、貴重なご意見を頂いた。今後とも再発防止に努めたい。	今年もコロナウイルス感染防止の為、2月までは書面での開催を継続した。運営推進会議では入居者状況、行事・研修・アクシデント報告等を行い、各推進委員の皆様から郵送で貴重な意見を頂きサービス向上に活かしている。また、約3年ぶりに4月に対面での開催を行った際には誤業のアクシデントに対する危機管理や対応マニュアルについての意見交換を行い貴重なご意見も頂いた。今後とも再発防止に努めたい。	これまでは感染症対策として書面での運営推進会議が中心であったが、徐々に対面での会議を再開している。会議には地域住民の参加が多く、家族も輪番での参加でホームの現状を知る機会に繋がっている。会議では事故報告等の経過や対策等も率直な意見交換がなされ、出された意見は運営に取り入れるなど運営の透明性が図られている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 1階)	実践状況(ユニット名: 2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	生活保護受給者の入居者様が数名、入居されているので生活福祉課の方とは日頃より連携を図っている。また、介護保険申請、事故報告、運営指導等、様々な手続きの際には長寿社会課との協力関係を築いている。	生活保護受給者の入居者様が数名、入居されているので生活福祉課の方とは日頃より連携を図っている。また、介護保険申請、事故報告、運営指導等、様々な手続きの際には長寿社会課との協力関係を築いている。	運営推進会議を中心に行政との関わりが多いが、電話やメールなどを活用し運営上の相談や研修などの情報提供を得ている。課題が生じた際には関係機関にホームの実情を伝え、解決に向けた助言を受け改善に向け取り組んでいる。行政機関との協働の姿勢で関わりを持っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	当事業所の身体拘束状況は「玄関施錠」をご家族の同意の上で行っている。尚、玄関の掃除、消毒の時間には玄関を開放する取り組みを毎日、実施している。また、身体拘束に関する研修を定期的に行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	当事業所の身体拘束状況は「玄関施錠」をご家族の同意の上で行っている。尚、玄関の掃除、消毒の時間には玄関を開放する取り組みを毎日、実施している。また、身体拘束に関する研修を定期的に行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	ホームでは、住環境上における事故防止の観点から玄関の施錠を行っているが、研修や身体拘束適正化委員会の運用により身体拘束への正しい理解と身体拘束を行わないケアの実践に努めている。管理者は過去の経験から職員の言動に注意を払い、ストレスチェックにより心の不調を把握するようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待に関する研修を定期的に行い虐待防止に繋げている。また、職員は入浴介助や更衣の際にボディチェックを行い、外傷等を発見した際は2名以上で再度外傷チェック後、管理者・主治医・ご家族への報告をマニュアル化している。その後、ケース記録記入、アクシデント報告を行い、職員全体で情報共有し再発防止に努めている。	高齢者虐待に関する研修を定期的に行い虐待防止に繋げている。また、職員は入浴介助や更衣の際にボディチェックを行い、外傷等を発見した際は2名以上で再度外傷チェック後、管理者・主治医・ご家族への報告をマニュアル化している。その後、ケース記録記入、アクシデント報告を行い、職員全体で情報共有し再発防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	認知症の症状が進行し、判断能力が低下傾向にて後見人制度を利用する入居者様は今年も1名いた。その際にご家族や弁護士、社会福祉協議会と連携を図り、契約等のお手伝いを行った。	認知症の症状が進行し、判断能力が低下傾向にて後見人制度を利用する入居者様は今年も1名いた。その際にご家族や弁護士、社会福祉協議会と連携を図り、契約等のお手伝いを行った。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 1階)	実践状況(ユニット名: 2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時の面談や契約、解約・改定の際には入居者様及びご家族への分かり易い説明を心掛けている。また、質問、相談が会った際には十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時の面談や契約、解約・改定の際には入居者様及びご家族への分かり易い説明を心掛けている。また、質問、相談が会った際には十分な説明を行い理解・納得を図っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や面会時、日々の電話報告の際に意見や要望を話しやすい関係性を心掛けている。しかし、玄関先にクレームボックスを設置しているが余り活用されていない。入居者やご家族より意見・要望が上がった際には本部への報告を行い、運営に反映させている。	家族会や面会時、日々の電話報告の際に意見や要望を話しやすい関係性を心掛けている。しかし、玄関先にクレームボックスを設置しているが余り活用されていない。入居者やご家族より意見・要望が上がった際には本部への報告を行い、運営に反映させている。	ホームでは入居者の小さな変化も家族へこまめに伝えるように努め、分かりやすい言葉で説明し入居者や家族からの本音を引き出すよう努めている。相手が話しやすい雰囲気をつくることで具体的な要望が出されることも多く、ホームでは一つひとつの意見を丁寧に汲み取りより良い関係づくりに繋げていきたいと取り組んでいる。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ホーム会議や個人面談の際に運営に関する意見・提案を聞く機会を設けている。職員の立場だからこそ気付く意見を大切にし運営に反映している。	ホーム会議や個人面談の際に運営に関する意見・提案を聞く機会を設けている。職員の立場だからこそ気付く意見を大切にし運営に反映している。	ホームでは職員が揃う夕礼で業務の現状や課題が話し合わせられ、入居者の状態把握や情報の共有が図られている。管理者が介護に直接関わることでこまめな状況確認や早期対応解決に努めている。定期的な個人面談を行うことで個々が目指す職員像を具現化し、人材育成や職員が働きやすい職場環境づくりに努めている。	評価調査日現在、介護現場におけるハラスメント研修等が未実施である現状にある。円滑に職員意見を反映させられるようハラスメントに関する研修などを通して理解を深めると共に、基本方針、マニュアル作成、相談対応窓口の設置等、今後具体的に取り組み、職員が安心して働くことができる職場環境を整備することに期待する。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は管理者、職員の資格取得や研修参加、ホーム勉強会の内容等を人事考課表を用いて把握し、職員が働きやすい環境・条件の整備に努めている。	代表者は管理者、職員の資格取得や研修参加、ホーム勉強会の内容等を人事考課表を用いて把握し、職員が働きやすい環境・条件の整備に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 1階)	実践状況(ユニット名: 2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は管理者、職員の人事考課表を用いてケアの実際と力量を把握し、それに見合った研修を受ける機会を設け、一人ひとりが知識向上していく事を進めている。	代表者は管理者、職員の人事考課表を用いてケアの実際と力量を把握し、それに見合った研修を受ける機会を設け、一人ひとりが知識向上していく事を進めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会の会議や研修やその他の外部研修で同業者との交流する機会を設けている。今年は少しずつ対面での開催が出来るようになりネットワーク作りが出来る様に待ったので今後ともサービスの質の向上に繋げて行く。	グループホーム連絡協議会の会議や研修やその他の外部研修で同業者との交流する機会を設けている。今年は少しずつ対面での開催が出来るようになりネットワーク作りが出来る様に待ったので今後ともサービスの質の向上に繋げて行く。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時は新しい環境の中、遠慮もあり、中々不安や要望を話さない入居者様も多い。日々の生活の中でコミュニケーションを図り、会話だけでなく行動・表情等より一人ひとりの思いを引き出し、安心して暮らせる環境、関係づくりに努めている。	入居時は新しい環境の中、遠慮もあり、中々不安や要望を話さない入居者様も多い。日々の生活の中でコミュニケーションを図り、会話だけでなく行動・表情等より一人ひとりの思いを引き出し、安心して暮らせる環境、関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時面談時に出来るだけ多くの悩みや不安、要望等に耳を傾ける様、心掛けている。また、ケアマネジャーは入居が決まる前から何回も電話でのやり取りがあるので、その都度詳しく、親切な説明を行い、関係作りに努めている。	入居時面談時に出来るだけ多くの悩みや不安、要望等に耳を傾ける様、心掛けている。また、ケアマネジャーは入居が決まる前から何回も電話でのやり取りがあるので、その都度詳しく、親切な説明を行い、関係作りに努めている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 1階)	実践状況(ユニット名: 2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者様、ご家族のニーズに合わせたケアプラン作り、サービス利用を提供している。面談時の会話の中より本当に必要とされている支援を紐解き、ケアプラン作成の参考にしている。	入居者様、ご家族のニーズに合わせたケアプラン作り、サービス利用を提供している。面談時の会話の中より本当に必要とされている支援を紐解き、ケアプラン作成の参考にしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様がこれまでご自宅で過ごしてき日々が出来るだけ継続していけるようなお手伝いをしている。入居者様一人ひとりが役割を持って生活していけるような支援を心掛けている。	入居者様がこれまでご自宅で過ごしてき日々が出来るだけ継続していけるようなお手伝いをしている。入居者様一人ひとりが役割を持って生活していけるような支援を心掛けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話連絡時には業務連絡だけでなく、入居者様の日々の生活の様子の報告を行い、家族からの意見・要望に耳を傾け、改善でき来ことは柔軟に対応している。	面会時や電話連絡時には業務連絡だけでなく、入居者様の日々の生活の様子の報告を行い、家族からの意見・要望に耳を傾け、改善でき来ことは柔軟に対応している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が望まれるなら町内会のカラオケ大会やお墓参り、教会のミサへの参加、結婚式参加等、送迎や介助をお手伝いをしている。(コロナの間は自粛中)また、以前の町内の方々の面会や手紙のやり取りが定期的であり、交流は継続されている。	本人が望まれるなら町内会のカラオケ大会やお墓参り、教会のミサへの参加、結婚式参加等、送迎や介助をお手伝いをしている。(コロナの間は自粛中)また、以前の町内の方々の面会や手紙のやり取りが定期的であり、交流は継続されている。	感染症予防で積極的な外出を控える現状にあるが、家族の電話でのやり取りや玄関先での家族との面会により家族との時間を大切にしていることが把握に努め、趣味活動や思い入れのあることが途切れないよう支援に努めている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 1階)	実践状況(ユニット名: 2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	本人が望まれるなら町内会のカラオケ大会やお墓参り、教会のミサへの参加、結婚式参加等、送迎や介助をお手伝いをしている。(コロナの間は自粛中)また、以前の町内の方々の面会や手紙のやり取りが定期的であり、交流は継続されている。	入居者様同士の関係性を把握し、出来る限り、気の合う入居者様同士のテーブル配置、ソファ配置にしている。余り会話をされない入居者様に関しては職員が間に入り、孤立することが無いよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院などで解約になった後も本人、ご家族が望まれるなら次の入居先のご相談や再度、当ホームへの待機を進める等、フォローし支援に努めている。(入院の為に一度解約され、数カ月後、当ホームに再入居されたケースはこれまでに何件かある)	長期入院などで解約になった後も本人、ご家族が望まれるなら次の入居先のご相談や再度、当ホームへの待機を進める等、フォローし支援に努めている。(入院の為に一度解約され、数カ月後、当ホームに再入居されたケースはこれまでに何件かある)		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時の面談や情報提供、フェイスシート等より、一人ひとりの思いや希望をひもとき、意向の把握に努めている。また、日頃の会話や表情、行動などからも思いや意向を汲み取ることが心掛けている。	入居時の面談や情報提供、フェイスシート等より、一人ひとりの思いや希望をひもとき、意向の把握に努めている。また、日頃の会話や表情、行動などからも思いや意向を汲み取ることが心掛けている。	ホームでは家庭的な暮らしを大事にし、おおむね日課は決めているものの、その時その時の状況に合わせた柔軟性を持った支援に努めている。行事や暮らしの中でも本人が自ら選択する場面が多く、会話の中から本音を引き出し、本人が安心できる主体性を持った暮らしを継続できるよう支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族やご本人より生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境の情報を頂き、職員全体で情報の共有をしている。その上で一人ひとりのニーズに合った暮らし方(環境づくり)のお手伝いをしている。	ご家族やご本人より生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境の情報を頂き、職員全体で情報の共有をしている。その上で一人ひとりのニーズに合った暮らし方(環境づくり)のお手伝いをしている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 1階)	実践状況(ユニット名: 2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	基本はリビングで皆さんで過ごされているが年齢や体調に応じて居室で休まれる入居者様もいる。また、一人になることを拒まれる際はソファで横になってもらうなど臨機応変に対応している。	基本はリビングで皆さんで過ごされているが年齢や体調に応じて居室で休まれる入居者様もいる。また、一人になることを拒まれる際はソファで横になってもらうなど臨機応変に対応している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族のニーズに合った暮らしを提供するために出来る限り話す機会を設け、介護計画作成に反映している。また、心身状況が変化した際には随時、介護計画を見直し、本人がより良く暮らせるような環境を提供している。	本人やご家族のニーズに合った暮らしを提供するために出来る限り話す機会を設け、介護計画作成に反映している。また、心身状況が変化した際には随時、介護計画を見直し、本人がより良く暮らせるような環境を提供している。	ホームではケアメモで暮らしにおける現状を把握し、次回介護計画の作成に活かしている。介護計画は入居者や家族が分かりやすい言葉を用い、計画の内容が理解しやすいものであるよう努めている。入居直後は他の入居者と関わりが持てる内容で作成し、入居者が新生活に馴染みやすく自ら取り組みやすいものへと工夫がなされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々、個別のケース記録を記入し、職員間で情報共有している。また、特記事項があった際には会議や申し送り等で話し合い介護計画の見直しに活かしている。	日々、個別のケース記録を記入し、職員間で情報共有している。また、特記事項があった際には会議や申し送り等で話し合い介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	心身状況に何らかの変化があった際には、その時のニーズに合わせた支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	心身状況に何らかの変化があった際には、その時のニーズに合わせた支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 1階)	実践状況(ユニット名: 2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナウィルス感染防止の為に外部との関わりを制限しているが令和5年4月よりお話のボランティアの方が1名来所されている。皆様はお話しボランティアを楽しみにされており笑顔も多くみられる。	コロナウィルス感染防止の為に外部との関わりを制限しているが令和5年4月よりお話のボランティアの方が1名来所されている。皆様はお話しボランティアを楽しみにされており笑顔も多くみられる。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本来なら主治医は2カ所に診てもらっているが本人やご家族が望まれる際には納得が得られたかかりつけ医を主治医にし、常に適切な医療を受けられるよう支援している。	本来なら主治医は2カ所に診てもらっているが本人やご家族が望まれる際には納得が得られたかかりつけ医を主治医にし、常に適切な医療を受けられるよう支援している。	ホームではこれまでのかかりつけ医の継続も可能であるが、協力医以外は家族の受診協力が必要となるため、協力医への変更が多くある。毎日協力医の往診があることから些細な体調変化への相談や急変時の対応も円滑に行うことができている。細かな体調管理は入居者や家族の安心にも繋がっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々のバイタル異常、身体の変化、皮膚トラブル等、小さな気づきを看護師、訪問看護師へ伝え、アドバイスを貰っている。その上で受診や搬送が必要な際には迅速に対応し適切な看護を受けられるように支援している。	日々のバイタル異常、身体の変化、皮膚トラブル等、小さな気づきを看護師、訪問看護師へ伝え、アドバイスを貰っている。その上で受診や搬送が必要な際には迅速に対応し適切な看護を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	急変時には主治医に連絡後、必要であれば後方支援先の病院等に救急搬送の指示を頂き、適切な治療を受けられるよう連携を取っている。また、入院後も病院関係者と小まめに連絡を取り、情報交換し、出来るだけ早期に退院出来るよう努めている。	急変時には主治医に連絡後、必要であれば後方支援先の病院等に救急搬送の指示を頂き、適切な治療を受けられるよう連携を取っている。また、入院後も病院関係者と小まめに連絡を取り、情報交換し、出来るだけ早期に退院出来るよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 1階)	実践状況(ユニット名: 2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方について契約時に話し合い、同意を取り交わしている。しかし、本人やご家族の気持ちは変化することもあるのでその度に話す機会を設け同意書の取り直しを行っている。また、最後まで安心して穏やかに暮らして頂けるような環境作りをチーム全体で心掛けている。	重度化した場合や終末期のあり方について契約時に話し合い、同意を取り交わしている。しかし、本人やご家族の気持ちは変化することもあるのでその度に話す機会を設け同意書の取り直しを行っている。また、最後まで安心して穏やかに暮らして頂けるような環境作りをチーム全体で心掛けている。	入居時に家族と終末期の対応や意向について話し合う機会を持ち、入居者の体調変化毎に再度家族の意向を確認し、その都度意向に沿う対応に努めている。法人系列の施設へ移り住む入居者もあるが、ホームでの看取りを希望された際は入浴方法等安楽な過ごし方を検討し、家族と共に最期の時間を穏やかに過ごせるよう努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応については「急変時マニュアル」に基づいて定期的な研修を行い、実際の急変時に冷静に迅速な対応が出来るよう実践力を身に付けている。	急変時の対応については「急変時マニュアル」に基づいて定期的な研修を行い、実際の急変時に冷静に迅速な対応が出来るよう実践力を身に付けている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。また、火災等を未然に防ぐための対策をしている	消防避難訓練を年に2回(日勤帯想定と夜間帯想定)で行っている。その際には消防署等に立ち会って頂き、訓練後にアドバイスや反省点などの支持を貰い、全職員がスムーズに避難誘導出来るよう次に繋げている。また、消防署から定期的な消防点検に来て頂き、指導を受け火災等を未然に防ぐための対策を行っている。	消防避難訓練を年に2回(日勤帯想定と夜間帯想定)で行っている。その際には消防署等に立ち会って頂き、訓練後にアドバイスや反省点などの支持を貰い、全職員がスムーズに避難誘導出来るよう次に繋げている。また、消防署から定期的な消防点検に来て頂き、指導を受け火災等を未然に防ぐための対策を行っている。	定期訓練では水消火器を用いた消火訓練や、重度化した入居者を布団で包み避難するなど職員が有事の際に迅速に体得できるよう取り組んでいる。訓練後には反省点など振り返りが行われていると聞くが、訓練記録に職員の振り返りや気づきの記載がなく、次回訓練に活かす記録への改善が求められる。	今回、風水害訓練について話し合いが持たれていると聞くが、訓練記録が確認できなかった。事業継続計画(BCP)の策定と共に継続的な運用、また、PDCAサイクルを用いて改善していく仕組みづくり等、風水害などの自然災害発生に備えた取り組みに期待する。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	特に排泄介助や入浴介助の際には尊重とプライバシーの確保に努めている。また、同性介護を望まれる入居者様に関しては出来る限り要望に応じられるよう対応をしている。	特に排泄介助や入浴介助の際には尊重とプライバシーの確保に努めている。また、同性介護を望まれる入居者様に関しては出来る限り要望に応じられるよう対応をしている。	ホームでは定期的な接遇マナーの研修が行われており、入居者と関わる際の目線や傾聴、言葉遣いや距離の取り方等入居者への尊厳に注意を払う関わりに努めている。入居者が発する言葉を丁寧に受け止め、その人らしさを保つ関わりが持たれている。居室はその方のプライベート空間である認識を持ち、勝手な入室や手回り品の取扱いに注意を払っている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 1階)	実践状況(ユニット名: 2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日替わりレクリエーションの項目やテレビのチャンネル、DVDの種類など日々の些細な楽しみの一つ一つに関しても自己決定出来るように働きかけている。全員で行なうレクリエーションを望まれない気分の時には個別の趣味活動を行われる入居者様もいる。一人ひとりの思いや希望を尊重している。	日替わりレクリエーションの項目やテレビのチャンネル、DVDの種類など日々の些細な楽しみの一つ一つに関しても自己決定出来るように働きかけている。全員で行なうレクリエーションを望まれない気分の時には個別の趣味活動を行われる入居者様もいる。一人ひとりの思いや希望を尊重している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日中は皆さんでフロアのソファで過ごされることが多いですが入居者様によって、テレビを視聴したり趣味活動を楽しまれたり希望にそった過ごし方を行われている。出来る限り、ご自宅での生活の延長となるその人らしい暮らしのお手伝いを心掛けている。	日中は皆さんでフロアのソファで過ごされることが多いですが入居者様によって、テレビを視聴したり趣味活動を楽しまれたり希望にそった過ごし方を行われている。出来る限り、ご自宅での生活の延長となるその人らしい暮らしのお手伝いを心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日の髭剃りの声掛けや爪切りの介助、食べこぼしの際の更衣介助等、身だしなみに対する支援を行っている。また、行事や外出の際には好みに合わせたおしゃれが出来るよう準備のお手伝いをしている。	毎日の髭剃りの声掛けや爪切りの介助、食べこぼしの際の更衣介助等、身だしなみの支援を行っている。また、行事や外出の際には好みに合わせたおしゃれが出来るよう準備のお手伝いをしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むき、もやしの根切り、おかずの注ぎ分けや下膳等、日々のお手伝いをさせて頂いている。また、月に一度のおやつ会ではおはぎ作りやパンケーキのトッピング等、ご自分で食べる分を手作りされ、食事を楽しまれている。	野菜の皮むき、もやしの根切り、おかずの注ぎ分けや下膳等、日々のお手伝いをさせて頂いている。また、月に一度のおやつ会ではおはぎ作りやパンケーキのトッピング等、ご自分で食べる分を手作りされ、食事を楽しまれている。	手作りの献立は毎食調理の香りが共用空間に広がり、入居者の楽しみとなっている。買い物直後の場面では、食材を見た入居者からリクエストが出ることもあり柔軟な対応もなされている。季節感や適温での食事提供を大切に考えており、入居者も小鉢への盛り付けなどできる範囲で役割を担い食事を楽しんでいる。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 1階)	実践状況(ユニット名: 2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量1日1200ccを目標に提供し水分確保に努めている。食事に関しては病状や年齢、習慣、アレルギー等に応じた食事提供を心掛けている。また、嚥下状態に応じてミキサー食や刻み食に変更するなど臨機応変に対応している。	水分量1日1200ccを目標に提供し水分確保に努めている。食事に関しては病状や年齢、習慣、アレルギー等に応じた食事提供を心掛けている。また、嚥下状態に応じてミキサー食や刻み食に変更するなど臨機応変に対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けをし、状態に応じて介助をおこなっている。夜間は口腔ケア後、ポリデント洗浄を行い、清潔保持に努めている。また、定期的な歯科往診を行い、口腔環境の保持を行っている。	毎食後、口腔ケアの声掛けをし、状態に応じて介助をおこなっている。夜間は口腔ケア後、ポリデント洗浄を行い、清潔保持に努めている。また、定期的な歯科往診を行い、口腔環境の保持を行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表に基づき、一人ひとりの排泄のパターンに応じたトイレ誘導を行ない、出来るだけトイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表に基づき、一人ひとりの排泄のパターンに応じたトイレ誘導を行ない、出来るだけトイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	トイレでの排泄を目指し、排泄パターンの把握によってパットやオムツの使用を減らす支援に努めている。職員はケア会議で入居者一人ひとりの必要とする支援を共有し、本人ができる部分を活かしながら自力では困難な部分を職員が介助し補う支援に努めている。具体的な手順や留意点の話し合いがなされケアの統一が図られている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	足踏み運動や歩行訓練など入居者様に合わせた適度な運動を日々の暮らしに取り入れている。また、野菜を中心としたバランスの良い食事の提供を心掛け、水分は1日1,200cc以上を目標に摂取して頂いている。	足踏み運動や歩行訓練など入居者様に合わせた適度な運動を日々の暮らしに取り入れている。また、野菜を中心としたバランスの良い食事の提供を心掛け、水分は1日1,200cc以上を目標に摂取して頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 1階)	実践状況(ユニット名: 2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	3日に1回のペースで入浴支援を行っているがその日の体調や気分が入浴を断られる時などには、日を改めるなど一人ひとりの希望に沿った対応を行っている。しかし、時間帯に関しては職員の人員配置の関係から日勤帯以外の対応は難しのが現状である。	3日に1回のペースで入浴支援を行っているがその日の体調や気分が入浴を断られる時などには、日を改めるなど一人ひとりの希望に沿った対応を行っている。しかし、時間帯に関しては職員の人員配置の関係から日勤帯以外の対応は難しのが現状である。	家庭的な個浴が準備され、入居者一人ひとりのペースに合わせて寛げる入浴となるよう努めている。ホームではゆっくりと浴槽に浸かり心と身体をほぐすことを大切に考えており、身体機能が低下した入居者には福祉用具を使用し、職員が動作を補助しながら安全に入浴できるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は皆さんでリビングのソファで過ごされることが多いがご本人の希望や体調の状況に応じて居室で休まれる事もある。また、夜間は清潔に心地よく睡眠出来るよう、毎週1回のシーツ交換、毎日の居室掃除の支援を行っている。	日中は皆さんでリビングのソファで過ごされることが多いがご本人の希望や体調の状況に応じて居室で休まれる事もある。また、夜間は清潔に心地よく睡眠出来るよう、毎週1回のシーツ交換、毎日の居室掃除の支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様の病気及び処方薬の把握を職員全体で行っている。また、処方変更の際には申し送りノートに記載し日々、情報の共有に努めている。尚、服薬支援の際と薬セット際の2回、職員はダブルチェックを行い、その後、入居者様へも確認をして頂き、厳重な誤薬防止対策を行っている。	入居者様の病気及び処方薬の把握を職員全体で行っている。また、処方変更の際には申し送りノートに記載し日々、情報の共有に努めている。尚、服薬支援の際と薬セット際の2回、職員はダブルチェックを行い、その後、入居者様へも確認をして頂き、厳重な誤薬防止対策を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	嗜好品やおしゃれに関する要望に応え、職員が購入して対応したり、ご家族へ持ってきて頂いたりして、張り合いや喜びのある日々を過ごせるようなお手伝いを行っている。	嗜好品やおしゃれに関する要望に応え、職員が購入して対応したり、ご家族へ持ってきて頂いたりして、張り合いや喜びのある日々を過ごせるようなお手伝いを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 1階)	実践状況(ユニット名: 2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナウィルス感染防止の為に外出支援は行っていない。	コロナウィルス感染防止の為に外出支援は行っていない。	現在は感染症予防で車中から季節の花を見物したりと積極的な外出を控える傾向にあるが、感染状況により徐々に制限を緩和していく意向にある。職員は入居者の生活の中に楽しみを感じてもらいたいと考えており、入居者や職員の得意分野を活かした余暇活動に力を入れている。日々の暮らしに笑顔を引き出す工夫がなされている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	コロナウィルス感染防止の為に買物の支援は行っていない。	コロナウィルス感染防止の為に買物の支援は行っていない。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様の希望があればご家族や知人などへの電話の引継ぎを行っている。また、お手紙や年賀状なども希望されればハガキや便箋の準備などの支援を行っている。	入居者様の希望があればご家族や知人などへの電話の引継ぎを行っている。また、お手紙や年賀状なども希望されればハガキや便箋の準備などの支援を行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングでのテレビの音量、カーテンを使用した光の調整、空調の温度管理、湿度調整など配慮している。また、毎月手作りカレンダーを作成し季節を感じて居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングでのテレビの音量、カーテンを使用した光の調整、空調の温度管理、湿度調整など配慮している。また、毎月手作りカレンダーを作成し季節を感じて居心地よく過ごせるような工夫をしている。	食堂に隣接したリビングでは、入居者が各々に過ごすソファが設置され、入居者がともに会話や趣味活動を楽しむ場所が準備されている。壁面には季節に応じた手作りの作品が飾られ、職員が入居者の輪に入ることで会話が弾む温みを感じられる共用空間づくりに繋がっている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 1階)	実践状況(ユニット名: 2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	基本はメインのリビングで皆さんで過ごされているが要望に応じてサブリビングで個別のレクリエーション等の趣味活動を行われる入居者様もいる。	基本はメインのリビングで皆さんで過ごされているが要望に応じてサブリビングで個別のレクリエーション等の趣味活動を行われる入居者様もいる。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前にご自宅で使用していたタンスやぬいぐるみ、小物類などご本人が使い慣れた物を持ってきて頂き、居心地よく過ごせるような工夫をしている。また、要望があれば仏壇などを持って来られる場合もあり、ご自宅に近い環境で穏やかに生活出来るような支援を行っている。	入居前にご自宅で使用していたタンスやぬいぐるみ、小物類などご本人が使い慣れた物を持ってきて頂き、居心地よく過ごせるような工夫をしている。また、要望があれば仏壇などを持って来られる場合もあり、ご自宅に近い環境で穏やかに生活出来るような支援を行っている。	ホームでは入居時に使い慣れた家具の持ち込みを依頼し、入居者が自力で生活しやすい家具の配置や手まわり品が設置されている。自らの生活スタイルを継続し居室の手入れをする入居者もおり、個々の空間を大事にし入居後も入居前の生活が感じられるよう努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	浴室やトイレ、居室等には分かりやすい大きな文字で看板や名札を設け、安心でかつ自立した生活が送れるような工夫を行っている。	浴室やトイレ、居室等には分かりやすい大きな文字で看板や名札を設け、安心でかつ自立した生活が送れるような工夫を行っている。		